

みなぎの通信



兵庫県立吉川高等学校 学校だより

令和4年度 第18号

2022年11月22日(火) 発行

日常を支える労働の尊さ確認 - 2年生インターンシップ -

「吉川高校生の
成長物語」第19回



明日11月23日は「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」ことを趣旨とする勤労感謝の日です。そこで今回は、10月24日(月)～28日(金)の5日間、2年生が取り組んだインターンシップ(就業体験)について取り上げます。

本校のインターンシップの特長は、高校卒業後の進路希望が進学なのか就職なのかにかかわらず、2年生全員が参加することです。体験を終えた生徒の感想を一部紹介します。

「一つ一つの作業に妥協を許さず、お客様に満足してもらえる品物を作ろうとされている姿勢を見て、社会人としてのあるべき姿を学びました」。

「実習で学んだしっかり挨拶をすること、何事も丁寧にすることを心がけて、今後の学校生活をより一層充実したものにしていきたいです」。

「普段当たり前のように使っているものが、どれだけ大切で、それを作るのがどれだけ大変なことかがわかりました。今後の学校生活では、実習で学んだ、一つ一つの仕事に責任を持つことを意識します」。

インターンシップの目的は、生徒が、①仕事することへの興味・関心を高めるとともに、その厳しさや喜びを体感すること、②望ましい職業観や勤労観を育むこと、③自己の適性に応じた職業選択の一助とすること等でした。各生徒の振り返りからは、目的が十分に達成されたことがうかがわれました。

最後に、感謝の対象となる働くこと、働く人々のなかには、「金銭的な対価が発生しない家事や育児、ボランティア等に携わる人々」も当然含まれていることをあえて記したうえで、まとめとします。

□自明のことですが、私たちが「平凡」という、実は極めて有り難(がた)い毎日を送ることができるのは、各職業に携わる仕事人が、やるべきことにコツコツと励んでいるからです。

□「当たり前」の日常を維持するために、働くことで誰もが社会に尽くしています。誰しも、ものやサービスを提供してくれている誰かの労働に支えられています。

【写真左側：上から順に】

- * (株)ゴーセン天神工場
- * 日本製紙リキッドパッケージ
- * プロダクト(株)三木事業所
- * 県動物愛護センター三木支所
- * アイスクリュー工房BOSS&MOM 西山牧場
- * (株)協同工芸社
- ひょうご東条工場

【写真右側：上から順に】

- * ネットトヨタ神戸(株)
- * ネットテラス三木
- * Be Shine 小野店
- * 社会福祉法人 高岡育児園
- * 兵庫県立三木山森林公園
- 管理事務所
- * 神戸電鉄(株)



兵庫県立 吉川高等学校

Yokawa High School

〒673-1129 三木市吉川町渡瀬300-12

Tel 0794-73-0068 Fax 0794-73-0167

